

<司令官ケネス・メイナー大佐の2020年6月21日のビデオメッセージ（要約）>

「長男夫婦がニューヨークの北部の人口5000人のウェルズビルという町で初めて小隊の任命を受けて、そこで初孫が誕生しました。出産日にわたしと妻もかけつけました。出産に立ち会った看護師は小隊の戦友で、喜びと感謝の祈りを一緒にささげたあと、看護師は孫のからだをスポンジできれいにし始めました。ところが、孫が大声で泣きだしたので、わたしが指で孫の手に触れて声をかけると、泣き止んで、わたしの指をぎゅっと握りしめてきました。長男の声はわたしに似ているので、孫は安心したのかもしれませんが。世界ではいま、いろいろな叫び声で満ちています。いったい、どの声にわたしたちは耳を傾けたらよいのでしょうか。ぜひヨハネ 10:1-4 の御言葉を読んでください。そこでイエスさまは素晴らしい約束を与えてくださっています。わたしたちは良い羊飼いであるイエスの声を聴き分けて、ついていくことができるのです。イエスの言葉は真理ですから、わたしたちはイエスの声に信頼することができます。わたしたちは、聖書を読み、信じ、御言葉を分かち合い、祈ることを通して、いつでもイエスの声を聴くことができますし、また、ほかの人にイエスの言葉を分かち合うことができます。その時、あなたは聖霊によって用いられているのです。どうか、あなたの心配や不安を、良い羊飼いであるイエスにゆだねてください。このコロナ禍の中で、神の声が聞こえない、と思う方は、ぜひヨハネ 10 章を読んだ上で、「神様、どうかわたしに語ってください。あなたの聖霊で満たしてください、真理のメッセージを聞かせてください」と祈っていただきたいのです。どうか、あなたが、イエスの声を聴き、イエスの言葉を受け取ることができますように。」